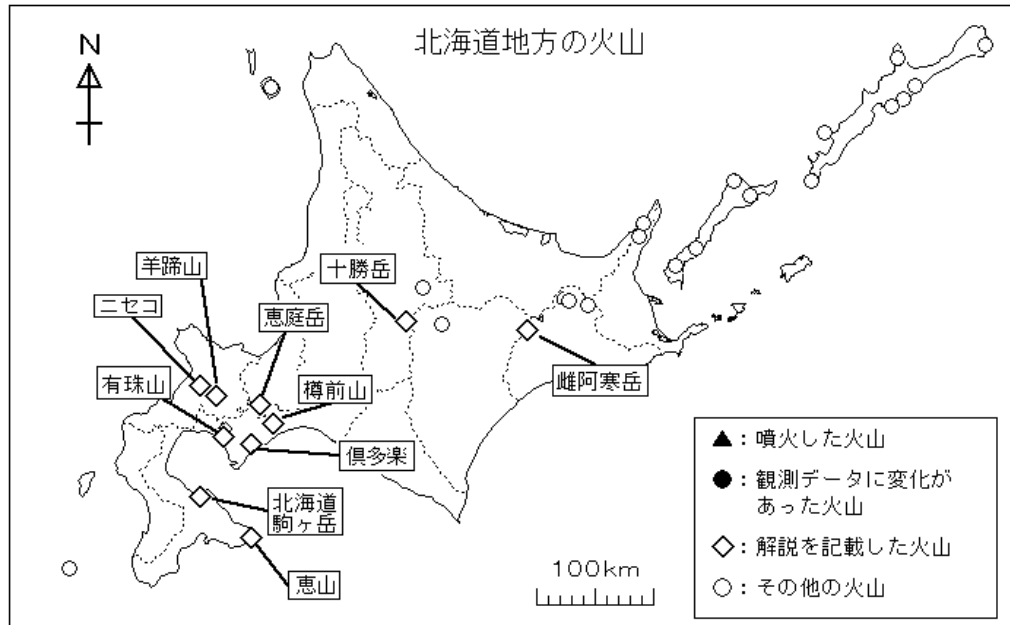


北海道地方の火山活動解説資料(平成 16 年 5 月)

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳

火山活動はやや活発な状態が続いています。

ポンマチネシリ 96-1 火口では約 320 とこれまでと同様高温の状態が続いています。噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

十勝岳

火山活動はやや活発な状態が続いています。

62-2 火口の噴煙活動は依然活発な状態で経過しています。4 月 19 日以降、小規模な火山性微動・有色噴煙は観測されていませんが、同様な現象は今後も繰り返し発生する可能性があります。

樽前山

火山活動はやや活発な状態が続いています。

A 火口では約 600、B 噴気孔群では約 400 とこれまでと同様高温の状態が続いています。噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

有珠山

火山活動は静穏な状態が続いています。

北海道駒ヶ岳

火山活動に特別な変化はなく、静穏な状態が続いています。

地殻変動はわずかながら山体膨張の傾向が続いています。昭和 4 年火口などではこれまでと同様弱い噴煙が見られています。火山性地震は少ない状態が続いています。

北海道駒ヶ岳では 1996 年から 2000 年までの間に 6 回の小噴火が発生しており、噴火発生の数年前に小噴火を繰り返した 1929 年大噴火や 1942 年中噴火の前の状況と類似しています。

上空から観測を実施した火山(恵山、倶多楽、恵庭岳、羊蹄山、二セコ)

北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、異常は認められませんでした。

次の火山活動解説資料(平成 16 年 6 月分)は 7 月 7 日に公表します。

(札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-ima.go.jp>、気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)